

ゾーニング法及び特性連関分析を用いた地域風土の把握に関する研究*

A Study of Grasping the Regional Cultural Climate
With Zoning Method and Identity Relational Analysis

森谷淳一**、松本裕***、山本洋一****

By Junichi Moriya, Yutaka Matsumoto, Yoichi Yamamoto

1. はじめに

和辻哲郎はその著「風土—人間学的考察」¹⁾の中で、「風土とは、ある土地の気候、地質、地形、景観などの総称」としており、さらに「人間の存在は風土によって規定され、人間は特殊な風土的過去を背負うのであり、したがって風土は人間にとって歴史的風土である」と論じている。

すなわち、地域風土の形成要因として歴史的時間の経過は大きなウエイトを占めるものであり、この歴史的時間の経過の中で交わされる様々な事象は、有形・無形を問わず地域にさまざまな形で刻印を残しているものと考えられる。しかし、地域の風土性を分析する場合、地域に顕在化した事象のみを題材とするのではなく、それらの母体となる地域の集合的無意識層とを総合的に研究する必要がある、佐佐木らの風土分析²⁾によってこのような観点からの研究が進められている。しかし、これらの研究成果をみると、地域の集合的無意識層が凝縮されている「昔話、民話」をもとにした地域イメージの抽出、イメージの階層構造分析が中心であり、それらを地域計画に適用する場合、線的(ストーリー性など)には容易に展開できるが、面的展開には未だ課題を残しているように思われる。地域計画において、計画対象地域の整備イメージをどのように設定するかは重要な問題であり、場合によってこれが最終目標となることも少なくない。しかし、設定する地域整備イメージがより広域的な地域整備イメージとどのような関係にあり、どの部分でイメージを分担しあっているかを把握することがなければ、時代と共に地域に馴染む計画立案は困難と考える。

2. 研究の全体概要

本研究では、従来の風土分析手法における面的対応の可能性検討という観点から、主に歴史的風土素材(有形・無形)を題材として、地域の歴史的変遷の中から地域風土に関わるファクターを抽出、カテゴリー化を行い、各々地図上にプロットすることによりイメージゾーニング図を作成し、各ゾーン間における風土性の連関(連携)及び相互影響分析を試みたものである。

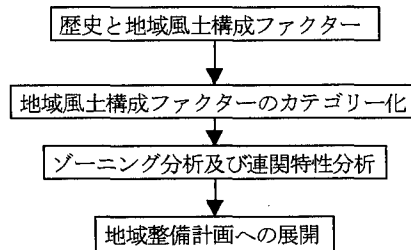


図2-1 研究フロー

3. 対象地域と歴史的変遷

分析対象地域は、ケーススタディとして、秋田県北部に位置する二ツ井町を取り上げる。同町は、「きみまち恋文全国コンテスト」で知られているが、かつては都や江戸の人々にとって「未知の地」としてのイメージを与えていただけでなく、図3-1に示すように様々な外圧を受けながら発展してきた地域である。

4. 歴史と地域風土構成ファクター

(1) 歴史展開に関わるファクター

◆「異なる土器様式」に着目

米代川流域の南側で円筒土器様式と大木土器様式の境界がみられ、エミシ(蝦夷)の分布圏であるとの見方がある。³⁾

◆「元慶の乱」にみられる反乱に着目

蝦夷最後の反乱と言われる「元慶の乱」の反乱勢力分布をみると、上記エミシの分布圏とほとんど一致している。

*キーワード: 地域計画、計画手法論

**正員、理学、(株)福山コンサルタント

***正員、工学、(株)福山コンサルタント

〒730-0016 広島市中区鞆町5番1号

TEL (082)-502-8800 FAX (082)-221-4001

****正員、工博、(株)福山コンサルタント

〒802-0062 北九州市小倉北区片野新町1-11-4

TEL (093)-931-3101 FAX (093)-932-1282

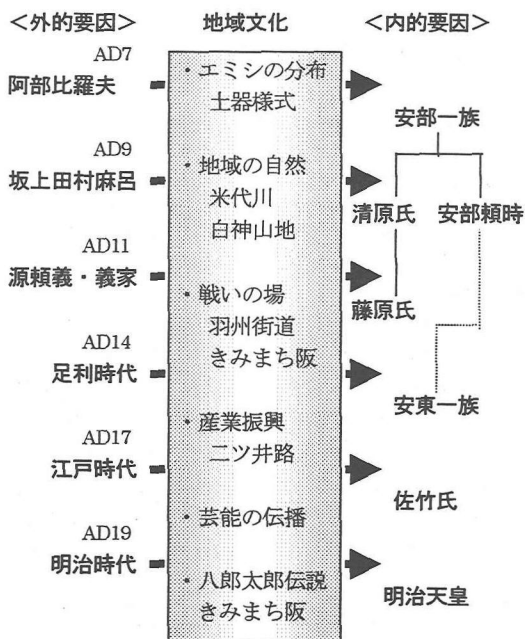


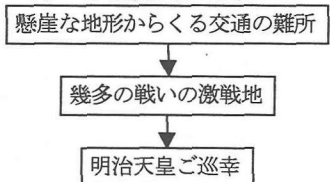
図3-1 地域の歴史の変遷

◆「二ツ井路」の活用に着目

- ・安部氏、藤原氏、安東氏などの反乱及び戊辰戦争等に代表される戦いの道
- ・津軽藩参勤交代の道

◆「きみまち阪」に着目

歴史的には数々の激戦地であるが、大きく3つのイメージ転換があった。



(2) 歴史的著名人物に関わるファクター

対象地域を中心とする歴史の変遷及び調査の中で実施されたアンケート調査における印象度を参考に、地域に関わりの深い歴史的著名人物と地区との関係を表4-1に示す。⁴⁾

表4-1 歴史的著名人物と関連地区

地区名	坂上 田村麻呂	藤原氏	佐竹氏	明治 天皇
小繋地区	○		○	○
荷上場地区			○	○
薄井・切石地区	○	○	○	○
仁鮎地区	○	○		
飛根地区			○	○
鶴形地区	○		○	○

(3) ニツ井路に関わるファクター

羽州街道の対象地域周辺を指すニツ井路は、羽州街道全体での沿道景観及び沿道に有する各種資源などから、下記のように位置付けられる。

【大館路】

備え付けられた木戸や町門、各往来に付けられた鍛冶町、馬喰町等の名称など典型的な城下町

【田代路】

豪商の屋敷跡や陸・川の道の交差部であるという賑わい及び鉱物や木材が集積するという拠点

【鷹巣路】

首切り塚や五義民碑等による追いつめられた力の爆発と大太鼓

【ニツ井路】

歴史的な逸話や事件及び地形条件等からくる境界のイメージは、達成した時の満足感も内包

【能代路】

白神山地や松並木、昔日の戦いを想起させる山道などが郷愁の念を抱かせる

【山本路】

宿場、宿所及び温泉に代表されるやすらぎや、三種川伝説に偲ばれる再生のイメージ

【琴丘路】

沿道の両側に広がる出羽丘陵と八郎湯の空間が豊かな開放感を感じさせる

(4) 伝説・伝承に関わるファクター

ニツ井町に伝わる伝説・伝承は14編あり⁴⁾、大和朝廷による侵略話2編、怨みによる祟り話3編、夫婦仲を裂く話2編、無念の死及び成就しない恋2編、竜の所払い1編、復讐話1編、奇怪な話1編、藤原泰衡への鎮魂1編、教訓話1のように分類される。さらに、地域、地物及び史跡が特定できるものが11編ある。

表4-2 伝説・伝承の出現頻度

出現頻度	地 域	地 物
5		米代川
3	荷上場	高岩山
2	仁鮎、切石、富根、鶴形	藤琴川
1	矢坂、小繋、比井野 田代、長面	七座山、七折山 田代湯、房住山

(5) 伝統芸能に関わるファクター

現在ニツ井町では、「獅子舞」、江戸時代佐竹氏転封以降伝わった「ささら」及び山岳信仰を母体に伝えられた「番楽」を中心に10余りの伝統芸能が伝承されている。⁴⁾これらの芸能は、本来演じた目的及びその内容からみると

ささら：佐竹氏左遷の悲しみを紛らす
 番 楽：山岳音楽、レクリエーション
 獅子舞：青春の現われとも思える激しい踊り
 のように分類され、各々の特性が異なる。

表 4-3 ニツ井町の伝統芸能

芸 能	地区	芸 能	地区
荷上場踊り	荷上場	濁川番楽	濁川
梅内駒踊り	梅内	切石ささら踊り	切石
種番楽	種	富根番楽	富根
作々楽踊り	仁鮎	羽立神楽	羽立
小掛盆踊り	小掛	駒形神社	駒形
小繫の芸能	小繫		

5. ゾーニング分析及び連関分析

上記に示した地域風土構成ファクターのうち、「歴史的著名人物、ニツ井路、伝統芸能及び伝説・伝承」について、ゾーニング分析、連関特性分析の例を以下に示す。

(1) 歴史的著名人物とルート特性分析

まず、本調査の中で実施した、ニツ井町及び周辺地域における「印象の強い歴史的人物」及び抽出された人物に対するSD法を用いた評価結果をもとに下式を用いて、歴史的著名人物からみた連関特性を算定する。

$$I R_{ijk} = \sum_i \sum_j \sum_k (V_{jk} \cdot W_k)$$

I R：歴史的著名人物からみた連関特性（表 3-1）

V：歴史的著名人物に対するSD評価値

【暗明、冷暖、柔硬、静動、陰陽】

W：歴史的著名人物のイメージウエイト

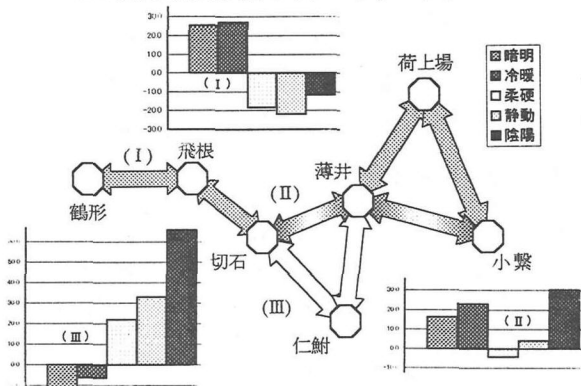


図 5-1 歴史的著名人物からみたルート特性

図 5-1 をみると、TYPE (I) と (III) では「柔硬、静動、陰陽」の評価項目が、TYPE (I)、(II) と (III) では「暗明、冷暖」がまったく逆の傾向を示している。

(2) 伝統芸能とゾーニング分析

表 4-3 に示す伝統芸能を、演じられる目的及び内容から分類整理すると表 5-1 のようになる。

さらに、それらを地図上にプロットし、同一伝統芸能をゾーニングしたものが図 5-2 である。

表 5-1 伝統芸能と演じられる地区

伝統芸能	演じられる地区名
ささら踊り	荷上場、梅内、仁鮎、切石
番 楽	種、濁川、富根
獅子舞	小掛、小繫、羽立、駒形

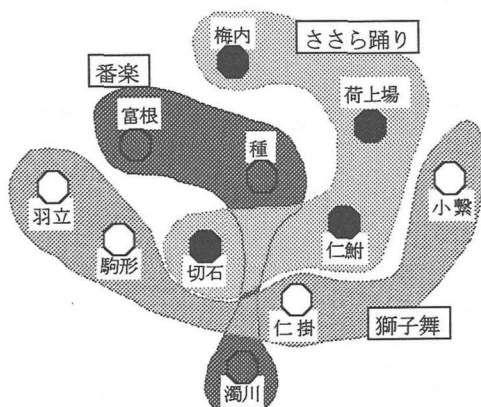


図 5-2 伝統芸能の地域分布

図 5-2 のゾーニング構成を見ると、佐竹氏が秋田転封の折り悲しみを紛らすため演じられた「ささら踊り」を、青春の現われと言われるほど激しい踊りである「獅子舞」が包み込むという構図が伺える。

(3) ニツ井路と連関特性分析

前述した「ニツ井路に関わるファクター」の中から、各路ごとに特徴的なキーワードを抽出すると下記ようになる。

【大館路】：城下町

【田代路】：豪商、陸・川の道

【鷹巣路】：一揆、首切り塚、五義民碑

【ニツ井路】：懸崖、川渡し、兜・鎧神社

【能代路】：松並木、史跡の里、白神山地

【山本路】：宿場、森岳温泉、三種川伝説

【琴丘路】：八郎潟、出羽丘陵、松庵寺

以上のキーワードを各道の出現順に並べ替え、「静動」に着目してイメージを整理すると、ニツ井路を境に

静（南）→動（北）気持ちの高揚・鼓舞
動（北）→静（南）気持ちを落ち着かせる
というイメージの変化があり、二ツ井路は地区間のフィルターとして機能している。

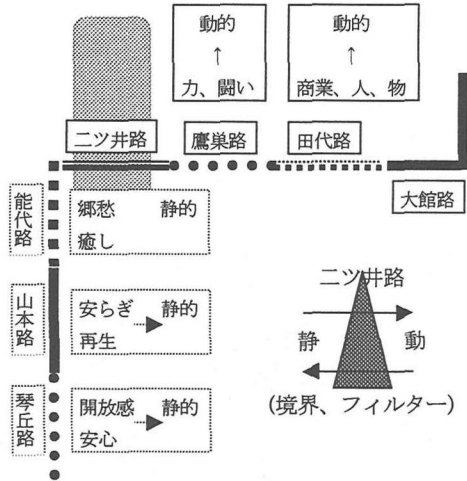


図5-3 二ツ井路の特性

(4) 伝説・伝承とゾーニング分析

ここでは、表 4-2 に示した二ツ井町に伝わる 11 編の伝説・伝承のうち 10 編を対象として、それらに現れる素材のうち固有名詞に着目し、地域、地物、史跡（地図上で特定可能なもののみ抽出）の категорияにわけゾーニングを行った。

表 5-2 抽出した伝説・伝承の分類

	伝説・伝承	地 域	地 物	史 跡
A	天神様と八郎太郎	富根、鶴形、小繋 切石、二ツ井街七座	七座山 米代川	七座神社
B	イチョウ浮気	二ツ井街仁鮎 比井野	米代川	银杏神社 清徳寺
C	飛根の長城	富根、鶴形、仁鮎 飛根、能代	米代川	
D	館平城	二ツ井街荷揚場	藤琴川 高岩山	檜山陣屋 密乗院
E	梅林寺	山本郡荷揚場村		梅林寺
F	兜の明神	二ツ井町、大館町	藤琴川	甲の明神
G	権現の窟	タヒラ	高岩山	
H	御所面	荷揚場御所面	藤琴川 高岩山	
I	富根明神		米代川	愛宕神社
J	面が淵	荷揚場	米代川	伊勢堂岱

（出典）二ツ井町誌

表 5-2 で示した伝説・伝承を地図にプロットし、ゾーニングしたものが図 5-4 である。

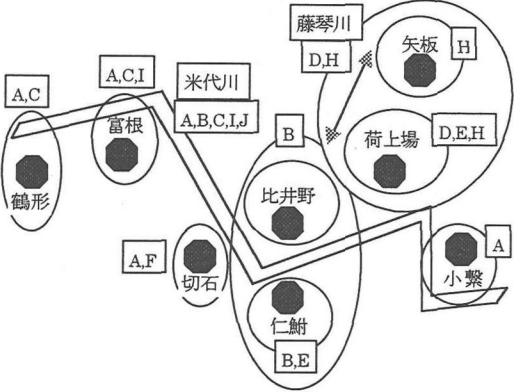
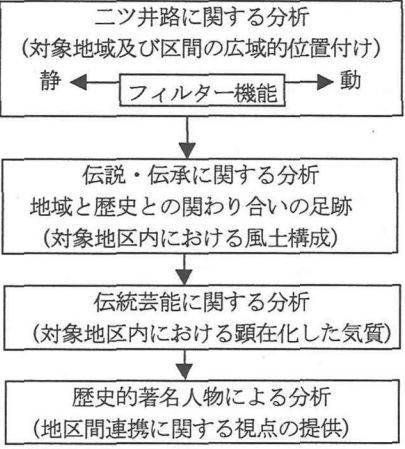


図 5-4 伝説・伝承素材の分布とゾーニング

6. 地域整備計画への展開

以上の研究結果を地域計画に適用する場合、下図のような手順に従い、個別整備テーマを設定することになる。



7. まとめと課題

本稿では、ゾーニング分析、連関分析の考えにより、地域のベーシックな歴史・風土性を、ゾーン、ネットワークの形で具象化し、地域整備の展開方向について提示した。今後は、イメージ連想調査等を加えることにより具体的なコンセプトづくりに取り組みたいと考えている。

【参考文献】

- 1) 和辻哲郎：「風土－人間の考察」岩波文庫 1990
- 2) 佐佐木綱他：文学を利用した地域整備に関する考察、土木計画学会研究・講演集 N012 1989
- 3) 図説秋田県の歴史：河出書房新社 P68 1987
- 4) 二ツ井町誌：昭和 52 年 3 月